

別冊

「リレーションシップバンキングの機能強化計画」
の進捗状況

株式会社 千葉銀行

【 目 次 】

| | |
|----------------------|--------|
| ． 全体的な進捗状況及びそれに対する評価 | ．．． 1 |
| ． 機能強化計画の進捗状況（要約） | ．．． 3 |
| ． 地域貢献に関する情報開示について | ．．． 13 |

・全体的な進捗状況及びそれに対する評価

1．進捗状況

当行のリレーションシップバンキングの機能強化計画（以下「機能強化計画」という。）は、実施スケジュールどおり着実に進捗しています。計画の最終期限である平成 17 年 3 月に向け計画の完遂を目指すとともに、各種施策の実効性を高め、リレーションシップバンキングの機能を強化していきます。

2．評価

(1) 中小企業金融の再生に向けた取組み

A. 成果

各個別項目については総じて計画どおり進捗し、相応の成果をあげていると評価しています。特に、創業・新事業支援では、従来からの積極的な取組みに加え、政府系機関の活用や産学連携の仕組みを整備するなど、さらにその機能を強化しています。また、昨年 10 月に設置した地区法人営業部をつうじた地域のお客さまへの高度な金融スキルの提供やビジネスマッチングの取組みなどにおいて成果が現れています。

「創業・新事業支援機能等の強化」及び「取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化」では、従来から当行が積極的に取組んできたベンチャー支援機能及びビジネスマッチングの取組みを強化したほか、地区法人営業部によるお取引先への高度な金融スキルの提供及び政府系金融機関等との連携を強化しています。さらに、各種研修や外部機関への派遣をつうじ、行員のノウハウ蓄積が確実に進んでいます。

「早期事業再生に向けた積極的取組み」では、昨年 10 月に設置した審査二部の企業戦略支援チームがその機能を高め、お取引先と一体となった経営改善計画の策定・実行が進んだほか、産業再生機構、中小企業再生支援協議会及び企業再生ファンドの活用が進むなど、要注意先債権等の債務者区分のランクアップが着実に進んでいます。なお、これらの取組みに際しては、お取引先との十分なリレーションシップを確保したうえで、個別・具体的に対応しています。

「新しい中小企業金融への取組みの強化」及び「顧客への説明態勢の整備、相談・苦情処理機能の強化」では、証券化を活用した取組みとして、地方銀行では初めて CLO を単独で組成したほか、CLO を投資信託として初めて個人投資家に販売しました。また、第 2 回千葉県版 CLO のアレンジャー業務を受託するなど、地域における新たな資金供給の仕組み作りに積極的に取組んでいます。あわせて、財務諸表の精度が相対的に高い企業に対する融資プログラムの提供、お取引先への説明態勢の整備などが進んでいます。

「進捗状況の公表」では、ディスクロージャー誌及びミニ・ディスクロージャー誌に、「地域の皆さまとともに」のコーナーを設け、幅広く当行の取り組みをお知らせしたほか、決算短信やホームページ等においても、地域貢献に関する各種取り組みを積極的に開示しています。また、機能強化計画の概要について、行内外を問わず、さまざまな機会をつうじて幅広く紹介しています。

各種施策の実効性を高めるため、「リレーションシップバンキング機能強化計画推進委員会」を定期的に開催（計6回、内16/上2回）して進捗管理を徹底しています。

B. 今後の対応方針等

今後とも、地域金融機関の使命・役割を十分に認識し、地域・お客さまのニーズに的確・迅速に対応してまいります。具体的には、個々のお客さまとのリレーションシップを高め、お客さまのニーズにあわせた個別・具体的な対応に心がけてまいります。今後とも役職員のスキルアップに努め、お客さまへの提案能力を高めてまいります。

(2) 各金融機関の健全性の確保、収益性の向上等に向けた取り組み

A. 成果

不良債権問題に対しては、「不良債権の適切な処理を進めるものの、再生可能な企業については、適切な償却・引当により金融機関の健全性を確保しつつ経営支援を行う」という基本姿勢の下、再生に対する取り組みをより一層強化し、資産の健全性維持に取組んだ結果、不良債権残高等は確実に減少しています。

地域貢献では、地域への安定的な資金供給及び各種金融サービスの提供など本業をつうじた貢献が第一と考えています。そのためにも、お取引先への新たな資金供給手法の提供、さまざまな情報提供などをつうじ、金融機能の強化に努めています。また、地域のリーディングバンクとして、青少年の育成・文化・スポーツ活動などにも積極的に対応しています。なお、これらの取り組みを幅広く地域のお客さまにご理解いただくために、ホームページや広報誌など、さまざまな媒体をつうじて幅広く開示しています。

B. 今後の対応方針等

今後とも、地域におけるリレーションシップバンキングの中核的担い手に相応しい金融機関として、健全性、収益性の向上に向けた取り組みを強化していきます。そのためにも、機能強化計画の完遂に加え、各種施策の実効性を高め、金融機能を今まで以上に強化してまいります。あわせて、ホームページやさまざまな機会をつうじて、当行の取り組みを積極的に開示・紹介してまいります。

以上

機能強化計画の進捗状況（要約）〔地域銀行版〕

（別紙様式3）

1. 15年4月から16年9月の全体的な進捗状況及びそれに対する評価

- (1)平成16年度末の「集中改善期間」終了時点に目指す経営の姿「地域におけるリレーションシップバンキングの中核的担い手として地域から十分な評価と信頼が得られる銀行」に向けて、取組方針・具体的取組策等の計画にしたがって実施スケジュールどおり着実に進捗しています。今後につきましては、計画の完遂を目指すとともに、各種施策の実効性を高め、リレーションシップバンキングの機能を強化していきます。
- (2)「中小企業金融の再生に向けた取組み」及び「健全性の確保、収益性の向上等に向けた取組み」に記載した全ての項目について着手済みで、特に、創業・新事業支援機能等の強化、取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化において成果をあげております。今後とも、地域・お客さまのニーズに的確・迅速に対応してまいります。
- (3)諸施策の実効性を高めるため、「リレーションシップバンキング機能強化計画推進委員会」を定期的に開催（通算6回）して進捗管理を徹底するとともに、ホームページやさまざまな機会をつうじて、当行の取組みを積極的に開示・紹介しています。

2. 16年4月から16年9月までの全体的な進捗状況及びそれに対する評価

- (1)機能強化計画に掲げた取組方針・具体的取組策等の計画にしたがって実施スケジュールどおり着実に進捗しています。
- (2)中小企業金融の再生に向けた取組みは、全ての項目について順調に推移しています。特に、創業・新事業支援機能等の強化では、地元大学との産学連携の仕組みが構築されたほか、取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化では、ビジネスマッチングの取組みにおいて、相応の成果をあげているものと評価しています。
- (3)健全性の確保、収益性の向上等に向けた取組みは、財務基盤の確立や収益管理のための態勢整備が進むとともに、地域の皆さまに安心して取引いただけるよう財務面の各種計数のみならず、当行の文化・スポーツ支援活動なども幅広く開示しています。

3. アクションプログラムに基づく個別項目の計画

| 項目 | 具体的な取組み | スケジュール | | 進捗状況 | | 備考（計画の詳細） |
|--|--|--|-----------------|---|--|--|
| | | 15年度 | 16年度 | 15年4月～16年9月 | 16年4月～16年9月 | |
| 中小企業金融の再生に向けた取組み | | | | | | |
| 1. 創業・新事業支援機能等の強化 | | | | | | |
| (1)業種別担当者の配置等融資審査態勢の強化 | 業種別審査の拡充等により、適切なリスク管理を行いつつ顧客ニーズへの確かつた対応。 | ・業種別審査の拡充。 ・審査部にベンチャー企業担当者を配置。 | ・業種別審査の継続及び見直し。 | ・業種別審査の拡充。 ・審査部にベンチャー企業担当者配置。 ・業界審査機能の統合。 | ・審査部からベンチャー企業審査の定性的なチェックポイントを発刊。 | 審査部へのベンチャー企業担当者の配置及び業種別審査の拡充により、融資審査態勢を強化。 |
| (2)企業の将来性や技術力を的確に評価できる人材の育成を目的とした研修の実施 | ・中小企業診断士養成。 ・行内研修の継続実施。 ・地銀協等外部研修派遣。 | ・中小企業診断士養成。 ・行内研修の継続実施。 ・地銀協等外部研修派遣。 | 左記取組を継続。 | ・中小企業診断士試験に3名が合格。 ・行内研修を6回開催し66名が受講。 ・地銀協主催の集合研修に6名を派遣。 ・外部トレーナーを3名派遣。 | ・中小企業診断士取得のため2名を外部機関に派遣。 ・行内研修を2回開催し22名が受講。 ・地銀協主催の集合研修に3名を派遣。 ・外部トレーナーを1名派遣。 | 中小企業診断士の養成継続、行内研修の継続実施、地銀協主催等外部研修への派遣。 |

| 項目 | 具体的な取組み | スケジュール | | 進捗状況 | | 備考(計画の詳細) |
|---|--|--|--|--|--|---|
| | | 15年度 | 16年度 | 15年4月～16年9月 | 16年4月～16年9月 | |
| (3)産学官とのネットワークの構築・活用や日本政策投資銀行との連携。「産業クラスターサポート会議」への参画 | <ul style="list-style-type: none"> ベンチャー企業の成長レベルに応じた支援。 大学と連携し、県内中小企業が大学の知的財産を活用できる仕組みを検討。 産業クラスターサポート金融会議に参画、ベンチャー企業への融資を検討。 | <ul style="list-style-type: none"> ベンチャー向け融資目標20件600百万円、2本の投資事業組合での投資10件100百万円。 大学との知的財産戦略に関する連携の検討開始。 | 左記取組に加え、大学との知的財産戦略に関する連携の開始。 | <ul style="list-style-type: none"> ベンチャー向け融資45件1,211百万円、2本の投資事業組合での投資18件224百万円。 大学発ベンチャーの起業化支援。 政投銀と新株予約権付融資で協調融資を実施。 | <ul style="list-style-type: none"> ベンチャー向け融資19件510百万円、2本の投資事業組合での投資5件61百万円。 地元大学の学内ベンチャーコンパに協賛。 政投銀と新株予約権付融資で協調融資を実施。 | ベンチャー企業向け融資・投資の継続的な実施、日本政策投資銀行との連携及び販路開拓等の効果的な紹介活動を展開。 |
| (4)ベンチャー企業向け業務に係る、日本政策投資銀行、中小企業金融公庫、商工組合中央金庫等との情報共有、協調融資等連携強化 | <ul style="list-style-type: none"> 協調投融資等について検討し連携。 | 具体的案件での協調体制を確立。 | 左記取組を継続。 | <ul style="list-style-type: none"> 政投銀と「業務協力協定」、中小公庫と「業務連携に関する覚書」を締結。 政投銀・中小公庫・商工中金と協調融資を実施。 | 政投銀と新株予約権付融資で協調融資を実施。中小公庫とも協調融資を実施。 | 政府系金融機関県内支店との情報共有、協調融資等の連携の強化。 |
| (5)中小企業支援センターの活用 | 個別案件を、当該センターに紹介する体制の構築。 | 個別案件の紹介及び協調。 | 左記取組を継続。 | 千葉県産業振興センター及び千葉市産業振興財団に取引先を紹介。 | 千葉県産業振興センターに取引先を紹介。 | 企業に対するサポート機能を強化するため、同センターの機能等について営業店に周知・徹底。 |
| 2.取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化 | | | | | | |
| (1)経営情報やビジネスマッチング情報を提供する仕組みの整備 | <ul style="list-style-type: none"> コンサルティング業務及びM&A業務の態勢整備・推進。 ビジネス@ちばぎんの契約先目標5千先。 | <ul style="list-style-type: none"> コンサルティング業務やM&A業務の態勢整備。 ビジネス@ちばぎんの契約企業の推進及び企業コース登録推進。 | <ul style="list-style-type: none"> コンサルティング業務やM&A業務推進。 ビジネス@ちばぎんの契約企業の推進及び企業コース登録推進。 | <ul style="list-style-type: none"> M&A7件成約。 ビジネス@ちばぎんの契約先数4,186先。 | <ul style="list-style-type: none"> M&A4件成約。 ビジネス@ちばぎんの契約先数が275先増加。 | M&A、業務提携、合併等に対する企業コースについては、営業店・本部間の連携を深め、これまでの情報活動の仕組みを活用するとともにさらに充実して推進。 |
| (3)要注意先債権等の健全債権化及び不良債権の新規発生防止のための体制整備強化並びに実績公表 | (別紙様式3-2、3-3及び3-4参照) | | | | | |
| (4)中小企業支援センターの向上を目的とした研修の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 行内研修の継続実施。 地銀協等外部研修派遣。 | <ul style="list-style-type: none"> 行内研修の継続実施。 地銀協等外部研修派遣。 | 左記取組を継続。 | <ul style="list-style-type: none"> 行内研修を15回開催し252名が受講。 地銀協の集合研修に6名派遣。 | <ul style="list-style-type: none"> 行内研修を5回開催し79名が受講。 地銀協の集合研修に3名派遣。 | 行内研修は継続実施、地銀協主催等外部研修への派遣。 |

| 項目 | 具体的な取組み | スケジュール | | 進捗状況 | | 備考(計画の詳細) |
|--|---|---|--------------------------------------|--|--------------------------------------|---|
| | | 15年度 | 16年度 | 15年4月～16年9月 | 16年4月～16年9月 | |
| (5)「地域金融人材育成システム開発プログラム」等への協力 | 講演要請に積極的に協力。 | 同プログラム策定後その内容を確認し、対応方法を検討。 | 左記取組を継続。 | ・行員の外部機関への派遣及びちばぎん総研との連携強化。 | ・ちばぎん総研のセミナーを21回開催し455名が参加。 | グループのシシタツを含め、講演依頼等に対応できる人材を育成。 |
| 3. 早期事業再生に向けた積極的取組み | | | | | | |
| (1) 中小企業の過剰債務構造の解消・再生の取組み。「早期事業再生がトライ」の趣旨を踏まえた事業再生への早期着手 | 事業再生のための取組みにあたっては、地域経済の影響や回収金額の極大化を念頭に置きながら、個別に妥当性を検討のうえ取組。 | ・「地区法人営業部」設置。 ・「企業戦略支援チーム」の設置。 | ・「地区法人営業部」の設置地区拡大検討。 ・その他左記取組を継続。 | ・「地区法人営業部」の設置及び対象地区の拡大。 ・「企業戦略支援チーム」の設置。 | ・「地区法人営業部」の対象地区拡大を決定(16年10月実施)。 | 「地区法人営業部」及び「企業戦略支援チーム」の設置により、適切な経営支援活動を実施し債務者区分のランクアップを目指す。 |
| (2) 地域の中小企業を対象とした企業再生ファンドの組成の取組み | 地方公共団体、政府系金融機関との連携をシステムに盛り込むことを含め、更に具体的に検討。 | 中小企業再生ファンド組成に係る課題の検討と同ファンドを活用した事業再生に適宜着手。 | 左記取組を継続。 | 企業再生ファンドを活用した「地域企業再生スキーム」を創設及び実施。 | 企業再生ファンドを活用した「地域企業再生スキーム」による再生支援を実施。 | 中小企業再生支援協議会が主催する中小企業再生ファンド研究会に参加し、ファンドの組成に向け検討。 |
| (3) ネット・イクティ・スワップ、DIPファイナンス等の活用 | 事業再生のための取組にあたっては、個別に妥当性を検討のうえ取組。 | ・外部コンパニによる勉強会の実施。 ・個別案件の取組妥当性の検討。 | 左記取組を継続。 | ・監査法人等による勉強会を実施。 ・取引先の再建計画に基づきDESを実施。 | ・取引先の再建計画に基づきDESを実施。 | 個別の再生支援の実施において、DES・DIPファイナンスの取組みの可能性を検討。 |
| (4) 「中小企業再生型信託スキーム」等、RCC信託機能の活用 | 取引先の実態にあわせRCC信託機能等の外部機関の活用も検討。 | 個別案件の取組妥当性の検討。 | 左記取組を継続。 | 個別案件の取組妥当性の検討。 | 個別案件の取組妥当性の検討。 | 個別の再生支援の実施において、迅速な事業再生のために、RCC信託機能の活用を検討。 |
| (5) 産業再生機構の活用 | 地域経済の影響や取引先の状況に応じ産業再生機構の活用を検討。 | 個別案件の取組妥当性の検討。 | 左記取組を継続。 | 取引先の再建計画に基づき産業再生機構を活用。 | 取引先の再建計画に基づき産業再生機構を活用。 | 個別の再生支援の実施において、事業再生計画の策定支援及び計画の妥当性を検証し、産業再生機構の活用を検討。 |
| (6) 中小企業再生支援協議会への協力とその機能の活用 | 協議会の機能を会議や研修にて行内に周知し、活用を促進。 | 協議会の機能を会議や研修にて行内に周知し、活用を促進。 | 左記取組を継続。 | 個別案件で当行の資金支援を組入れた経営改善計画の策定。 | 個別案件で当行の資金支援を組入れた経営改善計画の策定。 | 個別の再生支援の実施において、協議会に取引先を紹介するほか、連携を強化し、事業再生を支援。 |
| (7) 企業再生支援に関する人材(ターンアラウンド・スペシャリスト)の育成を目的とした研修の実施 | ・行内研修の継続実施。 ・地銀協等外部研修派遣。 | ・行内研修の継続実施。 ・地銀協等外部研修派遣。 | 左記取組を継続。 | ・行内研修を3回開催し44名が受講。あわせて全支店長を対象に研修を実施。 ・行内研修「企業審査支店長コース」を新設し47名が受講。 ・経済産業省主催の事業再生研修にモニターとして1名派遣。 | ・行内研修を1回開催し16名が受講。 | 行内研修は継続実施、地銀協主催等外部研修への派遣。 |
| 4. 新しい中小企業金融への取組みの強化 | | | | | | |

| 項目 | 具体的な取組み | スケジュール | | 進捗状況 | | 備考（計画の詳細） |
|---|---|--|---|---|--|---|
| | | 15年度 | 16年度 | 15年4月～16年9月 | 16年4月～16年9月 | |
| (1)担保・保証へ過度に依存しない融資の促進等。第三者保証の利用のあり方 | ・ビジネス・ローンの商品性改定。 ・担保・保証の実態調査を踏まえ、必要に応じた取組策を策定。 | ・ビジネス・ローンの商品性改定。 ・担保・保証の実態調査を踏まえた対応策を検討。 | ・ビジネス・ローンの検証及び商品性の適宜見直し。 ・担保・保証の実態調査を踏まえた対応策を検討。 | ・スコアリングを活用した保証協会との提携商品「ダッシュ5000」及び「スパート3000」の取扱いを開始。 ・ビジネス・ローンの商品性を改定。 ・第三者保証人用の確認書及び用語説明資料を制定。 | ・スコアリングを活用した保証協会との提携商品「スパート3000」の取扱いを開始。 ・第三者保証人用の確認書及び用語説明資料を制定。 | スコアリングモデルを活用し、無担保・第三者保証人不要の融資に積極的に対応。第三者保証の利用にあたっては過度なものとならないように対応。 |
| (3)証券化等の取組み | CLOの検討。 | CLOの取扱い検討・開始。 | CLOの取扱い開始。 | ・当行アレンジにより「千葉県CLO活用資金融資」総額224億円を実行。あわせて個人向けに投資信託を45億円販売。 ・第2回千葉県版CLOのアレンジャー業務を受託。 | 第2回千葉県版CLOのアレンジャー業務を受託。 | 当行が主体（アレンジャー）となったCLOの実施。 |
| (4)財務諸表の精度が相対的に高い中小企業に対する融資プログラムの整備 | TKC 戦略経営者ローンの導入を検討。 | TKC 戦略経営者ローンを導入。 | TKC 戦略経営者ローンの周知。 | ・TKC 戦略経営者ローンの導入。 ・千葉県税理士会レジョンシップローンの創設検討。 | ・TKC 戦略経営者ローンの導入。 ・千葉県税理士会レジョンシップローンの創設検討。 | 戦略経営者ローン固有の特典（手数料・金利減免等）の付与を検討。 |
| (5)信用リスクデータの整備・充実及びその活用 | ・信用リスクデータの充実により信用リスク量の算定を精緻化。 ・審査業務、貸出金利設定、ポートフォリオ管理に活用。 | ・財務スコアリングモデルの見直し。 ・ビジネスローン拡充。 ・新「貸出運用基準金利」の制定。 | ・格付対象先の拡大。 ・融資決裁権限の見直し。 | ・財務スコアリングモデルの見直しを実施。 ・ビジネスローンの商品性を改定。 ・新「貸出運用基準金利」の制定。 ・地銀共同の新データヘルズシステムの構築準備。 | ・地銀共同の新データヘルズシステムの構築準備。 | 信用リスクデータを充実し、算定した信用リスク量を審査業務、貸出金利設定、ポートフォリオ管理に活用できる体制を整備。 |
| 5. 顧客への説明態勢の整備、相談・苦情処理機能の強化 | | | | | | |
| (1)銀行法等に義務付けられた、貸付契約、保証契約の内容等重要事項に関する債務者への説明態勢の整備 | ・「貸出しに係る顧客交渉に関する行動指針・局面別行動基準」および「貸付業務に係る公正取引の手引」を制定。 ・融資専用ホットラインの設置。 | ・行動指針及び公正取引の手引きを制定。 ・融資専用ホットラインを設置し、専担者2名を配置。 | 左記取組を継続するとともに、内容の検証及び改善策を実施。 | ・「貸出しに係る顧客交渉に関する行動指針・局面別行動基準」及び「貸付業務に係る公正取引の手引」を制定。 ・融資専用ホットラインを設置し相談・苦情処理の一元管理を実施。 | ・第三者保証人用の確認書及び用語説明資料を制定。 | 顧客の知識経験に応じた、きめ細かな対応を心がけ、顧客から納得の得られる説明態勢を構築する。あわせて、苦情処理態勢も整備。 |

| 項目 | 具体的な取組み | スケジュール | | 進捗状況 | | 備考（計画の詳細） |
|---|---|--|--|--|--|--|
| | | 15年度 | 16年度 | 15年4月～16年9月 | 16年4月～16年9月 | |
| (3)相談・苦情処理体制の強化 | <ul style="list-style-type: none"> 「貸出しに係る顧客交渉に関する行動指針・局面別行動基準」および「貸付業務に係る公正取引の手引」を制定。 融資専用ホットラインの設置。 | <ul style="list-style-type: none"> 行動指針及び公正取引の手引きを制定。 融資専用ホットラインの設置。 | 左記取組を継続するとともに、内容の検証及び改善策の検討継続。 | <ul style="list-style-type: none"> 「貸出しに係る顧客交渉に関する行動指針・局面別行動基準」及び「貸付業務に係る公正取引の手引」を制定。 融資専用ホットラインを設置し相談・苦情処理の一元管理を実施。 | 営業店勉強会を開催し、与信取引に関する顧客への適切な説明について徹底。 | 相談・苦情処理態勢の一層の強化、顧客への説明態勢を整備。 |
| 6.進捗状況の公表 | 決算発表時及びディスクロージャー誌等での適時開示。 | 左記取組を継続。 | 左記取組を継続。 | 決算発表時、ディスクロージャー誌及びホームページ等で開示。 | 決算発表時、ディスクロージャー誌及びホームページ等で開示。 | 当行の取組状況等を分かり易く情報開示。 |
| 各金融機関の健全性の確保、収益性の向上等に向けた取組み | | | | | | |
| 1.資産査定、信用リスク管理の強化 | | | | | | |
| (1)適切な自己査定及び償却・引当 | <ul style="list-style-type: none"> 格付と自己査定の一体化による自己査定精度の向上。 引当金算定方法の高度化を検討。 | <ul style="list-style-type: none"> 格付制度の改定及び格付業務のシステム化検討。 グルーピング手法導入による貸倒実績率等の適正な算定の検討と決定。 | <ul style="list-style-type: none"> 格付業務と自己査定業務の一体化の実施。 グルーピング手法導入による貸倒実績率等の適正な算定の実施。 | <ul style="list-style-type: none"> 格付・自己査定システムの開発及び実施準備。 DCF法の精度を一層向上。 | <ul style="list-style-type: none"> 格付・自己査定システムの開発及び実施準備。 DCF法の精度を一層向上。 | 適切な自己査定及び償却・引当体制の確立に向け、格付と自己査定の一体化、実態を反映した引当金の算定方法を確立。 |
| (1)担保評価方法の合理性、処分実績からみた評価精度に係る厳正な検証 | 評価精度の検証については、現状どおり実施。 | 収益還元法導入の場合の具体的な算出方法を検討。 | データ蓄積及びシステム対応の検討。 | 担保評価精度の検証を実施。 | 担保評価精度の検証を実施。 | 毎期の担保評価額とその処分実績の検証に加え、鑑定評価や収益還元法についても検討。 |
| 2.収益管理態勢の整備と収益力の向上 | | | | | | |
| (2)信用リスクデータの蓄積、債務者区分と整合的な内部格付制度の構築、金利設定のための内部基準の整備等 | <ul style="list-style-type: none"> 地銀協で行っている信用リスク管理高度化等の共同検討を活用。 格付の対象範囲拡大及び財務モデル等の精度向上。 貸出運用基準金利と信用リスクデータの整合策を検討。 | <ul style="list-style-type: none"> 財務スコアリングモデルの見直し。 新「貸出運用基準金利」の制定。 | <ul style="list-style-type: none"> 格付対象範囲の拡大。 地銀共同データの拡充（地銀共同対応）。 | <ul style="list-style-type: none"> 財務スコアリングモデルの見直しを実施。 新「貸出運用基準金利」の制定。 地銀共同の新データベースシステムの構築準備。 | <ul style="list-style-type: none"> 地銀共同の新データベースシステムの構築準備。 | リスクに見合ったリターンを得るため、適正な金利設定にかかる規定を整備するとともに、信用リスクの精緻化を図る。 |
| 4.地域貢献に関する情報開示等 | | | | | | |
| (1)地域貢献に関する情報開示 | ディスクロージャー誌、ミニ・ディスクロージャー誌等で情報を開示。 | 左記取組を継続。 | 左記取組を継続。 | ディスクロージャー誌、ミニ・ディスクロージャー誌、ホームページ等で情報を開示。 | ディスクロージャー誌、ミニ・ディスクロージャー誌、ホームページ等で情報を開示。 | ディスクロージャー誌、ミニ・ディスクロージャー誌、ホームページ等をつうじ、適宜、地域貢献に関する情報を開示。 |

3. その他関連の取組み

| 項目 | 具体的な取組み | 進捗状況 | |
|-------------|---|--|--|
| | | 15年4月～16年9月 | 16年4月～16年9月 |
| 経営改善支援体制の強化 | 経営改善計画作成支援や営業店に対し経営改善マニュアルを提供。あわせて、研修等で行員教育を徹底。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「経営改善計画シミュレーションソフト」の導入及び「健全化支援の手引き」の制定。 ・行内研修を4回開催し、108名が受講。 | <ul style="list-style-type: none"> ・行内研修を2回開催し45名が受講。 |

中小企業金融の再生に向けた取組み

2. 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化

(3) 要注意先債権等の健全債権化及び不良債権の新規発生防止のための体制整備強化並びに実績公表

| | | |
|---------------------------------------|------|--|
| 具体的な取組み | | <ol style="list-style-type: none"> 1. 「企業戦略支援チーム」の設置(審査二部の体制の整備) 2. 「地区法人営業部」の設置及び企業戦略支援担当の配置(営業店の体制の整備) |
| スケジュール | 15年度 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 要注意債権等の集約管理体制構築の検討。 2. 外部機関(産業再生機構、千葉県中小企業再生支援協議会等)との個別再生案件の協議。 3. 体制整備状況、経営改善支援取り組み先数、経営改善による債務者区分のランクアップ先数等の公表(15年11月下旬を目途)。 4. 審査二部内に「企業戦略支援チーム」を設置(15年下期)。 5. 「地区法人営業部」の設置(3ブロックにて施行実施、以降必要に心し拡大)(15年下期)。 6. 債務者区分のランクアップを目指した経営改善種の実行。 7. 外部機関を活用した大口メイン先の再生支援の実行。 |
| | 16年度 | <p>上記1～3、6・7について継続実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. については、15年度下期に設置済 5. については、効果を検証するなか16年下期には「地区法人営業部」を拡大したほか、再生支援先をブロック幹事店に集約 |
| 備考(計画の詳細) | | <ol style="list-style-type: none"> 1. 審査二部内に「企業戦略支援チーム」を設置。 産業再生機構・RCC・千葉県中小企業再生支援協議会・地域再生ファンド等外部機関を活用し、大口メイン先の再生支援を同チームが直接行う。また、下記「地区法人営業部」及び営業店の経営改善支援種をサポートする。 2. 「地区法人営業部」の設置及び企業戦略支援担当の配置。 県内の各営業店に分散していた経営改善支援取り組み先を集約するとともに、専担者による指導・管理を行うことで、債務者区分のランクアップ、不良債権の発生防止に向け、より踏み込んだ種を行う。そのため、県内4ブロックに「地区法人営業部」を設置するとともに、再生支援先が多く集約効果が見込めるブロック幹事店4カ店に各ブロック傘下店の再生支援先を集約し、当該先を管理する企業戦略支援担当を配置。 3. 経営改善計画書の作成支援ツールとしてシミュレーションソフトを導入。 |
| 進捗状況 | | |
| (1) 経営改善支援に関する体制整備の状況(経営改善支援の担当部署を含む) | | <ol style="list-style-type: none"> 1. 企業再生支援の専任部署である審査二部内に企業再生スキルを持つ人材からなる「企業戦略支援チーム」(交渉、実行担当者6名、他部との兼務者8名)を設置(15年10月)。外部機関を活用した大口メイン先の再生支援を直接行う体制を整備 2. 県内4ブロックに「地区法人営業部」を設置するとともに、再生支援先が多く集約効果が見込めるブロック幹事店4カ店(地区法人営業部設置ブロック以外)に各ブロック傘下店の再生支援先を集約し、当該先を管理する企業戦略支援担当を配置し、企業再生の取組みを強化 3. 営業店サポートツールを整備するため、「経営改善計画シミュレーションソフト」を導入するとともに、「健全化支援の手引き」を作成(15年10月)。 |
| 15年4月～16年9月 | | |
| 16年4月～16年9月 | | |

| | |
|---|--|
| <p>(2) 経営改善支援の取組み状況 (注) 15年4月～16年9月</p> | <p>1. 方針 当行は、財務面では一時的に厳しい状況にあるものの、経営改善に向けて努力している企業に対しては、十分な引当を積んだ上で、専門部署である審査二部の財務面のみならず、各種コンサルの実施などトータルな経営支援を行っていくことを基本としている。</p> <p>2. 活動内容 当行の支援により再生の見込まれる要主意以下の取引先を、経営改善支援取組み先とし、審査二部と営業店が連携して、直接訪問やグループ会社等のアドバイス機能を活用したうえで、トータルな経営改善指導を行っている。</p> |
| <p>15年10月～16年9月</p> | <p>3. 成果等 県内中小企業とともに経営改善計画書を作成、作成後には計画の進捗管理を十分に行うことで、経営者の意識改革も進み、業績改善に結びついている件数も増加している。また、中小企業再生支援協議会や産業再生機構など外部機関を活用した再生案件も実施し、その活用件数も着実に増加している。</p> <p>4. 課題 体制整備は着実に進展していることから、今後はその実効性を高めていく必要があると考えている。今まで以上に専門的なノウハウの提供と、現場により近い所でのアドバイスが必要であると考えている。今後については、審査二部に設置した「企業戦略支援チーム」と「地区法人営業部」「企業戦略支援担当」を有効に活用し、経営改善支援機能をさらに強化していくとともに、企業の実情に合わせ、外部機関を活用していくことも、従来以上に必要であると考えている。</p> |

(千葉銀行)

(注)下記の項目を含む

経営改善支援について、どのような取組み方針を策定しているか。

- ・同方針に従い、具体的にどのような活動を行ったか。
- ・こうした取組みにより支援先にどのような改善がみられたか。
- ・こうした取組みを進め成果を上げていくための課題は何か（借手の中小企業サイドの課題を含む）

経営改善支援の取組み実績(地域銀行用)

【15年4月～16年9月】

銀行名：株式会社千葉銀行

(単位：先数)

| | | 期初債務者数 | うち 経営改善支援取組み先 | のうち期末に債務者 区分が上昇した先 | のうち期末に債務者区分 が変化しなかった先 |
|------------------|-----------|----------|------------------|-----------------------|--------------------------|
| 正常先 | | 32,837 | 54 | | 14 |
| 要 注 意 先 | うちその他要注意先 | 7,509() | 676() | 105 | 457() |
| | うち要管理先 | 3,046 | 202 | 39 | 114 |
| 破綻懸念先 | | 1,389 | 123 | 23 | 57 |
| 実質破綻先 | | 989 | 2 | 0 | 1 |
| 破綻先 | | 317 | 1 | 0 | 0 |
| 合計 | | 46,087 | 1,058 | 167 | 643 |

()平成15年9月末の貸出条件緩和債権(要管理先)の判定に関する規定見直しにより、要注意先となった期初要管理先101先を含んでいます。

注)・期初債務者数及び債務者区分は、15年4月当初時点で整理

- ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含まない。
- ・には、当期末の債務者区分が期初より上昇した先数を記載。
なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はに含めるもののに含めない。
- ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」に上昇した場合はに含める。
- ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理すること。
- ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めない。
- ・には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載。
- ・みなし正常先については正常先の債務者数に計上すること。

経営改善支援の取組み実績(地域銀行用)

【16年度上期(16年4月~16年9月)】

銀行名:株式会社千葉銀行

(単位:先数)

| | | 期初債務者数 | うち | |
|------------------|-----------|----------|------------|-------------------|
| | | | 経営改善支援取組み先 | のうち期末に債務者区分が上昇した先 |
| 正常先 | | 30,249 | 19 | 18 |
| 要 注 意 先 | うちその他要注意先 | 9,573() | 340() | 274() |
| | うち要管理先 | 1,467 | 101 | 76 |
| 破綻懸念先 | | 1,292 | 59 | 37 |
| 実質破綻先 | | 538 | 1 | 0 |
| 破綻先 | | 153 | 0 | 0 |
| 合計 | | 43,272 | 520 | 405 |

()平成15年9月末の貸出条件緩和債権(要管理先)の判定に関する規定見直しにより、要注意先となった期初要管理先11先を含んでいます。

注)・期初債務者数及び債務者区分は、16年4月当初時点で整理

- ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含まない。
- ・には、当期末の債務者区分が期初より上昇した先数を記載。
なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はに含めるもののに含めない。
- ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」に上昇した場合はに含める。
- ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理すること。
- ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めない。
- ・には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載。
- ・みなし正常先については正常先の債務者数に計上すること。

・地域貢献に関する情報開示について

地域貢献に関する基本的考え方

当行は、千葉県を主要な地盤とする地域金融機関として、「金融サービスの提供を通じて、地域のお客さまのニーズにお応えし、地域の発展に貢献する」という役割・使命を果たしております。今後ともこの姿勢を堅持し、当行グループ全社が一体となって、質の高い金融商品・サービスを提供するなど、お客さまご満足度の向上につながる諸活動を展開してまいりますとともに、地域社会の発展に貢献してまいります。

1. 貸出金の状況

個人のお客さまのニーズに的確に対応した結果、県内住宅ローン残高は1兆6,401億円と国内総貸出金の29.09%を占めています。

県内中小企業向け貸出金比率は国内総貸出金の37.82%を占めています。また、千葉県信用保証協会の保証債務残高県内シェアは49.1%まで上昇しました。

(1) 県内向け貸出金の状況

平成16年9月末の県内貸出金残高は4兆6,639億円、県内貸出金比率は82.73%と地域に密着した営業を展開しています。なお、当行では16年3月期から部分直接償却を実施しております

(単位：億円)

| | 16年9月末 | 16年3月末 | 15年9月末 |
|---------|--------|--------|--------|
| 国内貸出金 | 56,372 | 56,623 | 57,496 |
| うち 県内 | 46,639 | 46,383 | 46,959 |
| 県内貸出金比率 | 82.73% | 81.91% | 81.67% |

部分直接償却前の貸出金は次のとおりです。

(単位：億円)

| | 16年9月末 | 16年3月末比 | | 16年3月末 | 15年9月末 |
|---------|--------|---------|---------|--------|--------|
| | | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | |
| 国内貸出金 | 57,197 | 369 | 298 | 57,567 | 57,496 |
| うち 県内 | 47,392 | 202 | 432 | 47,189 | 46,959 |
| 県内貸出金比率 | 82.85% | 0.88% | 1.18% | 81.97% | 81.67% |

(2) 中小企業向け貸出金の状況

中小企業向け貸出金は、2兆4,094億円と、国内総貸出金の42.74%を占め、中小企業のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えしています。平成16年5月より「ちばぎんTKC戦略経営者ローン」の取扱いを開始いたしました。

(単位：億円)

| | 16年9月末 | 16年3月末比 | | 16年3月末 | 15年9月末 |
|-----------------------|--------|---------|---------|--------|--------|
| | | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | |
| 中小企業向け貸出金 | 24,094 | 258 | - | 23,836 | 24,465 |
| うち 県内 | 21,325 | 14 | - | 21,310 | 22,003 |
| 中小企業向け貸出金比率 | 42.74% | 0.64% | 0.18% | 42.09% | 42.55% |
| うち県内中小企業向け貸出金比率 | 37.82% | 0.19% | 0.43% | 37.63% | 38.26% |
| 県内貸出に占める県内中小企業向け貸出金比率 | 45.72% | 0.22% | 1.13% | 45.94% | 46.85% |

部分直接償却前の中小企業向け貸出金は次のとおりです。

(単位：億円)

| | 16年9月末 | 16年3月末比 | | 16年3月末 | 15年9月末 |
|-----------------------|--------|---------|---------|--------|--------|
| | | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | |
| 中小企業向け貸出金 | 24,786 | 181 | 320 | 24,605 | 24,465 |
| うち 県内 | 21,970 | 15 | 32 | 21,955 | 22,003 |
| 中小企業向け貸出金比率 | 43.33% | 0.59% | 0.78% | 42.74% | 42.55% |
| うち県内中小企業向け貸出金比率 | 38.41% | 0.27% | 0.14% | 38.13% | 38.26% |
| 県内貸出に占める県内中小企業向け貸出金比率 | 46.35% | 0.16% | 0.49% | 46.52% | 46.85% |

(3)保証協会保証付貸出金の状況

保証協会付貸出金は、4,139億円と3月末に比べ、207億円増加しました。千葉県信用保証協会保証残高シェアは49.1%と、前年同月比2.5%増加しております。平成16年7月より、千葉県信用保証協会との提携融資「スパート3000」の取扱いを開始いたしました。

(単位：億円)

| | 16年9月末 | 16年3月末比 | | 16年3月末 | 15年9月末 |
|--------------------|--------|---------|---------|--------|--------|
| | | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | |
| 保証協会保証付貸出金 | 4,139 | 207 | | 3,932 | 3,894 |
| うち 県内 | 4,013 | 210 | | 3,803 | 3,760 |
| 千葉県信用保証協会保証債務残高シェア | 49.1% | 1.0% | 2.5% | 48.1% | 46.6% |

(4)私募債・シンジケートローンの取扱い状況

平成16年上期には、私募債で7件13億円、シンジケートローンでは4件178億円のアレンジャー業務を務めました。今後も新たな資金供給の仕組みづくりに積極的に取り組んでいきます。

(5)業種別貸出金の状況(16年9月末)

(単位：億円、%)

| | 県内 | | 国内 | |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|
| | 貸出残高 | 構成比 | 貸出残高 | 構成比 |
| 貸 出 金 | 46,639 | 100.00 | 56,372 | 100.00 |
| 製 造 業 | 2,744 | 5.88 | 4,392 | 7.79 |
| 農 業 | 112 | 0.24 | 124 | 0.22 |
| 林 業 | 1 | 0.00 | 1 | 0.00 |
| 漁 業 | 15 | 0.03 | 15 | 0.03 |
| 鉱 業 | 41 | 0.09 | 83 | 0.15 |
| 建 設 業 | 2,515 | 5.39 | 2,896 | 5.14 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 36 | 0.08 | 65 | 0.12 |
| 情 報 通 信 業 | 107 | 0.23 | 270 | 0.48 |
| 運 輸 業 | 1,033 | 2.22 | 1,797 | 3.19 |
| 卸 売 ・ 小 売 業 | 4,689 | 10.06 | 5,748 | 10.19 |
| 金 融 ・ 保 険 業 | 780 | 1.67 | 2,027 | 3.60 |
| 不 動 産 業 | 9,359 | 20.07 | 10,840 | 19.23 |
| 各 種 サ ー ビ ス 業 | 4,406 | 9.45 | 4,985 | 8.84 |
| 国 ・ 地 方 公 共 団 体 | 1,330 | 2.85 | 3,245 | 5.76 |
| そ の 他 (個 人) | 19,464 | 41.74 | 19,876 | 35.26 |

(6) 消費者ローン残高

消費者ローンは地域のお客さまのニーズに積極的にお応えした結果、国内総貸出金の 32.00% を占めています。

(単位：億円)

| | 16年9月末 | 16年3月末比 | | 16年3月末 | 15年9月末 |
|------------|--------|---------|---------|--------|--------|
| | | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | |
| 消費者ローン残高 | 18,039 | 424 | | 17,615 | 16,993 |
| うち住宅ローン | 16,722 | 480 | | 16,242 | 15,541 |
| うちその他ローン | 1,317 | 56 | | 1,373 | 1,452 |
| 消費者ローン比率 | 32.00% | 0.89% | 2.44% | 31.10% | 29.55% |
| うち住宅ローン比率 | 29.66% | 0.97% | 2.63% | 28.68% | 27.03% |
| うちその他ローン比率 | 2.33% | 0.08% | 0.18% | 2.42% | 2.52% |

(7) 県内消費者ローン残高

県内貸出に占める消費者ローン比率は 37.92% と前年同月比 2.42% 上昇しています。

(単位：億円)

| | 16年9月末 | 16年3月末比 | | 16年3月末 | 15年9月末 |
|------------------|--------|---------|---------|--------|--------|
| | | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | |
| 消費者ローン残高 | 17,686 | 412 | | 17,274 | 16,669 |
| うち住宅ローン | 16,401 | 465 | | 15,936 | 15,252 |
| うちその他ローン | 1,285 | 52 | | 1,337 | 1,416 |
| 消費者ローン比率 | 31.37% | 0.86% | 2.38% | 30.50% | 28.99% |
| うち住宅ローン比率 | 29.09% | 0.95% | 2.56% | 28.14% | 26.52% |
| うちその他ローン比率 | 2.27% | 0.08% | 0.18% | 2.36% | 2.46% |
| 県内貸出に占める消費者ローン比率 | 37.92% | 0.68% | 2.42% | 37.24% | 35.49% |
| うち住宅ローン比率 | 35.16% | 0.80% | 2.68% | 34.35% | 32.48% |
| うちその他ローン比率 | 2.75% | 0.12% | 0.26% | 2.88% | 3.01% |

(8) 個人向け無担保ローンの取扱い状況

(単位：億円)

| | 16年9月末 | 16年3月末 | 15年9月末 |
|-------------|--------|--------|--------|
| カードローン残高(注) | 306 | 301 | 298 |
| マイカーローン残高 | 64 | 62 | 58 |
| 教育ローン残高 | 26 | 24 | 21 |
| リフォームローン残高 | 20 | 20 | 20 |
| フリーローン残高 | 17 | 17 | 17 |

(注)カードローン残高につきましては、カードローン 20・30・50・70・100・150・200 の残高を掲載しております。

(9) 県内個人向け無担保ローンの取扱い状況

(単位：億円)

| | 16年9月末 | 16年3月末 | 15年9月末 |
|-------------|--------|--------|--------|
| カードローン残高(注) | 303 | 298 | 295 |
| マイカーローン残高 | 63 | 61 | 58 |
| 教育ローン残高 | 26 | 24 | 21 |
| リフォームローン残高 | 20 | 19 | 20 |
| フリーローン残高 | 17 | 16 | 17 |

(注)カードローン残高につきましては、カードローン 20・30・50・70・100・150・200 の残高を掲載しております。

(10) ローンプラザ・コンサルティングプラザの設置状況

平成 16 年 10 月 5 日、JR 千葉駅前に「ちばぎんコンサルティング・プラザ」を開設いたしました。当プラザでは、コンサルティング機能の充実に重点を置き、資産運用から住宅ローンまで、個人のお客さまのさまざまなニーズにお応えしています。

| ローンプラザ名 | 設置場所 | 営業時間 |
|----------------------------------|---|----------------------------------|
| ちばぎんコンサルティング・プラザ (千葉中央ローンプラザ) | 千葉市中央区富士見 2-3-1 (塚本大千葉ビル 1・2 階) TEL043-227-8505 | 平日 9 時～19 時 土・日・祝日 10 時～17 時 |
| 幕張ローンプラザ | 千葉市美浜区中瀬 2-6 千葉銀行幕張新都心支店内 (ワルトビジネスガーデン・マリブアネックス2 階) TEL043-351-0131 | 平日 10 時～18 時 土・日・祝日 10 時～17 時 |
| 柏ローンプラザ | 柏市柏 1-1-21 柏そごう 2 階 TEL04-7163-7111 | 平日 10 時～18 時 土・日・祝日 10 時～17 時 |

2. 預金・ネットワーク等の状況

給与振込口座が19千件、年金振込口座が10千件増加したことなどから、県内個人預金残高は前期末比634億円増加し、5兆4,917億円となり、国内総預金の75.64%を占めており、地域のお客さまから高い支持をいただいております。

お客さまへの最適なポートフォリオ提案を進めました結果、株式型投資信託の取扱いが増加し、県内投資信託の残高は前期末比488億円増加し、3,106億円となりました。また、年金保険につきましても、県内の取扱件数は7,954件、取扱保険料は453億円となりました。

(1) 預金の状況

平成16年9月末の県内預金残高は7兆563億円で、県内預金比率は97.19%を占め、地域のお客さまから高い支持をいただいております。

(単位：億円)

| | 16年9月末 | | | 16年3月末 | 15年9月末 |
|----------|--------|---------|---------|--------|--------|
| | | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | |
| 国内預金 | 72,602 | 831 | 1,293 | 71,770 | 71,308 |
| うち県内 | 70,563 | 832 | 1,444 | 69,731 | 69,118 |
| 個人預金 | 55,762 | 648 | 952 | 55,113 | 54,809 |
| うち県内 | 54,917 | 634 | 931 | 54,282 | 53,985 |
| 県内預金比率 | 97.19% | 0.03% | 0.26% | 97.15% | 96.92% |
| 個人預金比率 | 76.80% | 0.01% | 0.05% | 76.79% | 76.86% |
| 県内個人預金比率 | 75.64% | 0.00% | 0.06% | 75.63% | 75.70% |

(2) 投資型金融商品の状況

県内67営業店に相談デスクを設置し、お客さまへの最適なポートフォリオ提案に努めました結果、個人のお客さまの投資信託、公共債及び外貨預金の合計預り資産・預金残高は5,201億円となりました。

(単位：億円)

| | 16年9月末 | | | 16年3月末 | 15年9月末 |
|----------|--------|---------|---------|--------|--------|
| | | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | |
| 投資信託残高 | 3,149 | 494 | 926 | 2,655 | 2,223 |
| うち県内 | 3,106 | 488 | 913 | 2,618 | 2,193 |
| うち個人 | 3,077 | 483 | 911 | 2,594 | 2,166 |
| うち県内 | 3,037 | 477 | 898 | 2,560 | 2,139 |
| うち株式投資信託 | 2,841 | 553 | 1,024 | 2,287 | 1,816 |
| うち県内 | 2,803 | 546 | 1,008 | 2,257 | 1,795 |
| 個人公共債残高 | 1,399 | 14 | 71 | 1,385 | 1,470 |
| うち県内 | 1,392 | 13 | 70 | 1,378 | 1,462 |
| 個人外貨預金残高 | 724 | 111 | 229 | 612 | 494 |
| うち県内 | 700 | 110 | 227 | 589 | 473 |

投資信託につきましては、リスク軽減型の投資信託「CA条件付元本確保型インカムファンド2004-6『愛称：ファミリープラス』」及び「CA条件付元本確保型インカムファンド2004-9『愛称：ファミリー5』」の2銘柄を追加し、計35銘柄といたしました。

(単位：件、億円)

| | 16年9月末 | 16年3月末比 | | 16年3月末 | 15年9月末 |
|---------------|--------|---------|---------|--------|--------|
| | | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | |
| 個人年金保険(取扱件数) | 36,239 | 8,031 | 17,993 | 28,208 | 18,246 |
| うち 県内 | 35,908 | 7,954 | 17,844 | 27,954 | 18,064 |
| 個人年金保険(取扱保険料) | 2,005 | 457 | 1,076 | 1,547 | 928 |
| うち 県内 | 1,987 | 453 | 1,067 | 1,534 | 919 |

個人年金保険は、平成14年10月からの累計です。

個人年金保険につきましては、12銘柄の商品を取扱っています。

(3) 給与振込・年金振込口座の状況

県内110万人のお客さまに“暮らしのメインバンク”としてご利用いただいております。また、年金受給年齢に到達されるお客さまの年金受給に関する各種ご相談にお応えする「ひまわり年金教室」や「マネープラン講座」を、16年中間期に445回開催し、述べ4,472名のお客さまにご参加いただきました。

(単位：千件)

| | 16年9月末 | 16年3月末比 | | 16年3月末 | 15年9月末 |
|--------|--------|---------|---------|--------|--------|
| | | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | |
| 給与振込口座 | 794 | 19 | 22 | 775 | 772 |
| うち 県内 | 788 | 19 | 22 | 769 | 766 |
| 年金振込口座 | 312 | 10 | 17 | 301 | 294 |
| うち 県内 | 310 | 10 | 17 | 299 | 292 |

お客さまの豊かなシルバーライフにお役立ていただくため、確定拠出年金や財形年金預金の取扱いも行っております。

(4) 店舗の状況

県内に148の店舗、250カ所の店舗外ATMを設置し、稠密な拠点網を構築しています。また、コンビニATMネットワークとの提携により、お客さまの利便性向上を図っております。

(単位：所)

| | 16年9月末 | 16年3月末比 | | 16年3月末 | 15年9月末 |
|---------------------|--------|---------|---------|--------|--------|
| | | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | |
| 国内店舗数 | 157 | | | 157 | 157 |
| うち 県内 | 148 | | | 148 | 148 |
| 海外拠点数 | 4 | 1 | 1 | 5 | 5 |
| うち 支店 | 3 | | | 3 | 3 |
| 店舗外現金自動設備 | 14,617 | 1,599 | 2,995 | 13,018 | 11,622 |
| うち 県内 | 1,401 | 15 | 39 | 1,386 | 1,362 |
| うち 当行店舗外現金自動設備 | 251 | | 5 | 251 | 256 |
| うち 県内 | 250 | | 5 | 250 | 255 |
| うち コンビニATM「E-net」 | 5,110 | 55 | 128 | 5,055 | 4,982 |
| うち 県内 | 421 | 4 | 10 | 417 | 411 |
| うち アイワイバンク銀行との共同ATM | 9,256 | 1,544 | 2,872 | 7,712 | 6,384 |
| うち 県内 | 730 | 11 | 34 | 719 | 696 |

当行は県内59市町村に店舗及び当行店舗外現金自動設備を設置しております。

コンビニATM「E-net」及びアイワイバンク銀行との共同ATMは24時間対応(一部休止日・休止時間を除く)のATMです。

平成16年10月5日に中央支店千葉プラザ出張所(ちばぎんコンサルティング・プラザ)、平成16年10月25日に成田空港支店を新設しております。

(5) ダイレクトチャネルの取扱い状況

(単位：千件)

| | 16年9月末 | 16年3月末比 | | 16年3月末 | 15年9月末 |
|------------------|--------|---------|---------|--------|--------|
| | | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | |
| テレフォンバンキング契約件数 | 533 | 13 | 25 | 520 | 508 |
| うち 県 内 | 526 | 12 | 24 | 514 | 502 |
| インターネットバンキング契約件数 | 66 | 7 | 13 | 59 | 53 |
| うち 県 内 | 65 | 6 | 12 | 59 | 53 |
| モバイルバンキング契約件数 | 61 | 1 | 2 | 60 | 59 |
| うち 県 内 | 60 | 0 | 1 | 60 | 59 |

テレフォンバンキング、インターネットバンキング、モバイルバンキングとも 24 時間 365 日対応（一部休止日・休止時間を除く）しています。

(6) ちばぎんグループによる総合金融サービスの提供状況

| 会 社 名 | 主な業務内容 | 住所・電話番号 |
|--------------------|---|--|
| 中央証券株式会社 | 証券業務（個人・法人のお客さまに対し、株式・債券の売買等を行っています。） | 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1-5-3 TEL：03-3660-4700 |
| ちばぎんリース株式会社 | リース業務（お客さまの車輛・機械等のリースニーズにお応えしています。） | 〒262-0025 千葉市花見川区花園 2-1-22 TEL：043-275-8001 |
| ちばぎんクレジットカード株式会社 | クレジットカード業務（クレジットカードの発行や小口ローンの貸付業務等を行っています。） | 〒260-0015 千葉市中央区富士見 1-14-11 TEL：043-225-2611 |
| ちばぎんデビットカード株式会社 | クレジットカード業務（クレジットカードの発行や小口ローンの貸付業務等を行っています。） | 〒260-0015 千葉市中央区富士見 1-14-11 TEL：043-225-8411 |
| ちばぎんコンピュータサービス株式会社 | ソフトウェア等の開発販売業務、計算受託業務（お客さまのITニーズにお応えしています。） | 〒266-0032 千葉市緑区おゆみ野中央 6-12 TEL：043-292-8881 |
| ちばぎんキャピタル株式会社 | 株式公開・上場などに関するコンサルティング業務（ベンチャー企業への投資やコンサルティング等を行っています。） | 〒260-0026 千葉市中央区千葉港 8-4 日本興亜千葉ビル2階 TEL：043-248-8822 |
| ちばぎんアセットマネジメント株式会社 | 投資顧問業務（お客さまに最適な資産運用のアドバイスを行っています。） | 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1-5-3 TEL：03-3241-8021 |
| 株式会社ちばぎん総合研究所 | 情報・調査業務、コンサルティング業務（お客さまのビジネスパートナーとして、経営コンサルティング等さまざまなアドバイスを行っています。） | 〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台 2-3-12 TEL：043-207-0621 |

3. 千葉県経済活性化への取組み

千葉県経済の健全な発展と活性化に寄与することを目的に、ベンチャー企業向けローンによる融資、政府系金融機関との連携、ベンチャー育成基金による助成などを通じ、ベンチャー企業の支援・育成に積極的に取り組んでまいります。

お取引先企業の健全化支援のため、専担部署である「審査二部」に「企業戦略支援チーム」を設置し、当行メイン先の再生支援に積極的に取り組んでいます。また、グループ会社ちばぎん総合研究所の経営相談機能等を活用するなど、財務面にとどまらず、さまざまな経営支援活動を積極的に展開しております。

(1) ベンチャー企業向けローンの取扱い状況

(単位：百万円)

| | 16年中間期 | 15年中間期比 | 15年度 | 15年中間期 |
|-------|--------|---------|------|--------|
| 取扱い件数 | 19件 | 5件 | 26件 | 14件 |
| 取扱い金額 | 510 | 109 | 711 | 401 |

年間取扱い件数20件600百万円を目標としています。

(2) 当行が出資・出捐を行うベンチャー育成基金等の投資・助成状況

| | 16年中間期 | 15年度 | 15年中間期 |
|--|---------|-----------|-----------|
| グループ会社「ちばぎんキャピタル株式会社」が管理・運営する投資事業有限責任組合の投資実績 | 5件61百万円 | 13件161百万円 | 11件127百万円 |
| 財団法人ひまわりベンチャー育成基金による助成金交付実績 | 5件15百万円 | 10件30百万円 | 5件15百万円 |

投資については、年間取扱い件数10件100百万円を目標としています。

(3) 経営改善支援の取組み状況

当行は、再生可能な中小企業に対しては、十分な引当により資産の健全性を確保したうえで、取引先とのリレーションシップを強化するとともに、グループ会社であるちばぎん総合研究所や中小企業再生支援協議会等との連携強化などにより、再生策の構築に努めています。その結果、平成16年中間期の経営改善支援の取組み状況は以下のとおりとなりました。

(単位：先)

| | 期初債務者数 | うち経営改善支援取組み先 | 経営改善支援取組み先のうち期末に債務者区分が | |
|-----------|----------|--------------|------------------------|----------|
| | | | 上昇した先 | 変化しなかった先 |
| 正 常 先 | 30,249 | 19 | | 18 |
| 要 注 意 先 | 9,573() | 340() | 47 | 274() |
| | | | うち要管理先 | 1,467 |
| 破 綻 懸 念 先 | 1,292 | 59 | 6 | 37 |
| 実 質 破 綻 先 | 538 | 1 | 0 | 0 |
| 破 綻 先 | 153 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | 43,272 | 520 | 68 | 405 |

()平成15年9月末の貸出条件緩和債権(要管理先)の判定に関する規定見直しにより、要注意先となった期初要管理先11先を含んでいます。

(ご参考) 経営改善支援の取組み事例経営改善計画の策定および進捗管理の支援

- ・お客さまとのリレーションシップを十分に確保した上で、経営改善計画策定の支援を行うとともに、計画の進捗状況を適宜モニタリングしました。

公的機関・外部機関の活用

- ・お客さまの経営改善計画の実現に向け、千葉県中小企業再生支援協議会、産業再生機構等の公的機関や外部コンサルタントを活用した経営改善支援に積極的に取り組んでおります。

(4)地方公共団体との取引状況

当行は、千葉県及び県内57市町村の指定金融機関となり、県内78の市役所等に人員を派遣しています。また、地方債の引受（16年中間期実績27件657億円）のほか、地方公共団体と連携し制度融資の取扱いを行うなど、地域経済活性化に向けた各種取組みを行っています。

(ご参考) 地方公共団体と連携した地域活性化の取組み事例第2回千葉県版CLO（貸付債権担保証券）におけるアレンジャー業務の受託

- ・千葉県版CLOとは、千葉県、千葉市、千葉県信用保証協会および地元金融機関が協調して取組むものです。千葉県信用保証協会の保証に基づき地元金融機関が地元中小企業へ無担保かつ第三者保証人不要で融資を行い、当該融資の貸付債権を証券化して個人投資家および機関投資家等へ販売するもので、当行は本年3月に実施した「千葉県版CLO」に続き、「第2回千葉県版CLO」でもアレンジャー業務を担いました。

4. 地域貢献活動

さまざまな文化活動やスポーツ大会への協賛などをつうじて、地域社会の充実や豊かな社会づくりに積極的に取り組んでいます。

(1)文化活動

ちばぎんひまわりコンサート

- ・ 毎回、多彩なアーティストをお迎えして県内各地で開催しています。今後も、さまざまなジャンルの音楽をとおして、地域の皆さまとのふれあいの場をお届けしてまいります。

ちばぎんアートギャラリー

- ・ 千葉県出身・在住作家の新作・研究発表の場として、日本画、洋画、彫刻、工芸などのすぐれた作品を「ちばぎんアートギャラリー」（ちばぎん日本橋ビル2階）に展示しています。平成2年の開設以来、延べ展示回数は318回を数え、約11万人のお客さまにご鑑賞いただいています。

(2)スポーツ支援活動

千葉県少年野球大会及び千葉県ユース（U-15）サッカー選手権大会への協賛

- ・ 健全な青少年の育成と、地域社会のスポーツ振興を目的に、「千葉県少年野球大会」と「千葉県ユース（U-15）サッカー選手権大会」に協賛しています。

(3)福祉支援活動

財団法人千葉県福祉財団

- ・ 当行の創立10周年記念事業のひとつとして設立した同財団は、社会福祉事業に対する資金の貸付などをとおして、各種厚生事業の発展助成や県民福祉の向上に寄与しています。

バリアフリーへの取り組み

- ・ 店舗の新築・改修に際しては、「ハートビル法」、「千葉県福祉のまちづくり条例」に基づき、段差のスロープ化や点字タイルの使用等バリアフリーを考慮した対応を行っています。

(4)教育支援活動

教員の民間企業研修の受け入れ

- ・ 財団法人経済広報センターが主催する「教員の民間企業研修」の受入先企業となり、市川市・浦安市の7人の小・中学校の先生に、銀行業務についての学習や接客実習などさまざまな体験をしていただきました。

フィルムライブラリー

- ・ 当行の窓口をとおして保育園、幼稚園等にアニメーション・歴史・地理等の16ミリフィルムを無料で貸出しています。